

# マクロビオティック Macrobiotique

食による健康と治病

No.844 2008

1月号

Medical Cooking Recipe  
カノン小林の食養レシピ

年末年始の疲れをとる!

vol.5

肝臓をクレンジングする  
基本の食養レシピ

特集  
カリ石鹼



野口結加のスイーツレシピ お菓子なしあわせ vol.4 新春の寿ぎ  
平田シェフの料理レシピ……大豆

新連載 岡部賢二の未病病気にならないマクロビオティック生活

# ペット用シャンプーにもカリ石鹼

獣医師 河本栄作

獣医師としてペット用シャンプーを  
考える

市販の一般的なペット用シャンプーはクルマ用の洗剤と同じ家庭用品用の洗剤として製造されています。品質基準も人間用のものとは大きく異なり、ペットの安全性などは考慮されていません。人間のシャンプーには使われない有害化学物質なども平然と使われています。

動物病院で処方される治療薬や薬用シャンプーなら安心なのでしようか？薬用シャンプーは皮膚の炎症やかゆみを抑える効果はありますが、困ったことに薬用シャンプーでアレルギー性の皮膚炎になってしまふことがあります。薬用シャンプーの基剤は合成界面活性剤を使用しているものが多く、アレルギー性があるため結果的にこれが原因物質であると考えられま

皮膚病の治療に動物病院では安息香酸エステルやコルタールを使用しますが、安息香酸エステルはUV吸収剤に使用されていて毒性が証明されています。また、コルタールは皮膚を酸性にし、皮膚炎には一般的な治療となっていますが、副作用として皮膚ガンになる可能性があり、治療にはリスクを伴います。コルタールなど人の治療に使用しないことからわかる様に、治療にしてもシャンプーにしても人並みには扱われていないのが現状です。

## 植物原料でも安心できない

どんなに犬に優しい自然派で植物原料のシャンプーと謳っていても、ほとんど全ては植物原料を化学変換した、れっきとした合成界面活性剤です。これは皮膚の防御皮膜を洗い流してしまします。その結果、皮膚にバリアがなくなり、犬の弱い皮膚がより一層トラブル



皮膚病で脱毛中の柴犬15歳オス(2005.5)  
動物病院で処方される薬用シャンプーで洗うが一向に回復しない状態が数ヶ月続く...

回復期の柴犬15歳オス(2005.8)  
カリ石鹼に切り替えて洗い始めて2ヶ月後に回復し被毛もカットしてスッキリ!

の多い皮膚になります。合成シャンプーは使用後の時間経過につれて被毛や皮膚を乾燥させます。洗剤が肌に吸着して洗い流されな

白変性)。毛髪もたんぱく質で出来ているので、キューティクルの傷みや肌荒れとなります。人間のシャンプーも同じことが言えますが、人よりも皮膚の弱い犬はそれに耐えられません。

石鹼シャンプーは合成シャンプーと違って皮膚に浸透しないので、内臓に負担をかけません。余分な皮脂を洗い流した後、即座に皮脂と同じ生体成分でバリアを張るために、有害細菌やアレルギーの侵入から守り、皮膚や被毛は健康な状態を維持します。

## 大規模な森林破壊とアトピー患者に大敵の農薬空中散布

パームオイルは非常に安価であるため石鹼や洗剤の原料にも使われています。しかし、パームオイルの生産には熱帯雨林を伐採してアブラヤシを栽培するプランテーションが不可欠であり、絶滅が危惧されているオランウータンや多くの動物が生息する熱帯雨林を破壊している現状を獣医師として観過できません。熱帯雨林が消滅す



固形石鹼の廃水は川に流れると分解され、合成洗剤と違いほぼ1日で完全に分解され何の悪影響もあ

固形石鹼には出来ないカリ石鹼の地球環境改善作用

ると二酸化炭素の吸収が損なわれ、地球温暖化が促進されています。また、アブラヤシのプランテーションでは飛行機での農薬散布が行われますので、パームオイルには農薬が残留します。アトピー患者の6割は農薬に感作されていることが知られています。

りませんが(無添加の場合)、好影響もありません。カリ石鹼の廃水は地球環境に好影響をもたらします。カリウムは植物の三大栄養素であり欠かすことのできないものです。カリ石鹼の廃水が川に流れると水辺の植物の根からカリウムを吸収し、根を発育させるために湖や河川の富栄養化の原因となる窒素やリンを盛んに吸収するようになり、水を浄化します。植物の地上部はこの結果、成長しつつ空気中の温室効果ガスであるCO2をより多く吸収することで空気を浄化します。

また、川から農業用水として使われたならば、自然を肥し農作物を育て、やがてわたしたちのもとへ再び巡ってくる。これがカリ石鹼のポタツシウム・サーキュレーションといえます。カリ石鹼を使うだけで地球環境改善に参加しているのです。

ペットにもやさしい「カリ石鹼」

合成シャンプーは使い続けていくうちに、有害化学物質が皮膚から浸透して、年月をかけて内臓に

負担をかけます。しかし現状ではそのような合成シャンプーが漫然と使われています。犬は人間より皮膚がデリケートなのです。無添加カリ石鹼のシャンプーを使えばそのような心配もありません。無添加カリ石鹼は脂漏症の犬にも適しています。

犬が石鹼シャンプーを使うとpHバランスが崩れて皮膚にトラブルを起こすと誤解される場合がありますが、犬の皮膚pHは弱酸性から弱アルカリ性まで犬種、個体によって様々です。そもそもpH値は皮膚からの分泌物で決定するので、シャンプーしても直ぐ元に戻ります。もし、シャンプーでpHバランスが崩れるのだとしたら、それは合成界面活性剤が皮膚に吸着している事にほかなりません。

カリ石鹼は、特に皮膚病になった犬には、皮膚や被毛に優しく品質も高い、しかもシャンプーをする人の手にも負担をかけない。最適な洗浄剤だと思います。

●PROFILE

こうもと・えいさく  
(1966年9月20日生まれ、獣医師)  
最終学歴：酪農学園大学酪農学部獣医学科卒業  
勤務先：塩野義製薬新薬研究所・広島市小田動物病院・  
滋賀草津市アツキ動物病院  
2008年春、岡山市で開業予定

